

可燃ごみの出し方

週2回収集
(地域のごみ集積場)

出し方のルールとマナー

- 指定収集袋に入れて出してください。
- 収集日の午前8時半までにお住まいの地区の決められた集積場に出してください。
- 出し方のワンポイントをP7に掲載していますのでご覧ください。



指定ごみ袋は大・中・小の3種類です。

出せるもの

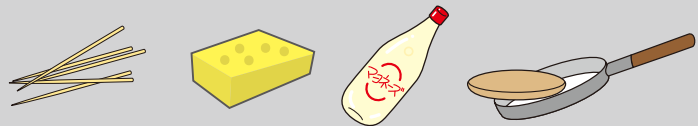
台所ごみ・生ごみ

- 調理くず●残飯●卵の殻●貝殻●茶殻
- 食用油●竹串●スポンジ
- 汚れが取れないパック・トレイやマヨネーズ・ケチャップの容器など



※注意点

- ◎調理くず・残飯・卵の殻などの処理には生ごみ処理機・容器の補助制度があります。詳しくはP54参照
- ◎食品ロスの削減にご協力ください。詳しくはP3参照
- ◎竹串など先のとがったものは紙に包んでください。
- ◎食用油は布に染み込ませるか凝固剤で固めてください。



皮革製品・ゴム製品・履物類

- 革製の靴・かばん・ベルト
- グローブ・ボール・靴類(運動靴やサンダルなど)
- ゴム手袋・ゴム長靴・ゴムホースなど

※注意点

- ◎取り外せる金属は不燃ごみで出してください。



カセット・ビデオテープ・発砲スチロール

- カセットテープ・ビデオテープ(本体)
- 緩衝材用などの発砲スチロールなど

※注意点

- ◎テープのケースは不燃ごみで出してください。
- ◎発砲スチロールはプラマークがあっても処理施設でリサイクルできませんので可燃ごみで出してください。



紙くず・布くず・木くず・枯葉

- リサイクルできない紙(ティッシュペーパーなどの衛生用品・紙コップ・紙皿・防水加工紙・特殊加工紙・感熱紙・アルバム・写真・シールなど)
- ぬいぐるみ●人形●衣類●靴下などの古着
- 枕●シーツ●カーテン●玄関マット
- 木くず・小枝●枯れ葉・落ち葉・雑草など



※注意点

- ◎紙製の菓子箱・包装紙は資源ごみ(紙類)のリサイクルへ出してください。詳しくはP16参照
- ◎ぬいぐるみ・人形に付いている金属は不燃ごみで出してください。
- ◎指定収集袋に入る布団類は可燃ごみで出してください。入らなければ施設搬入か粗大ごみとして出してください。詳しくは、施設搬入P51・粗大ゴミP17参照
- ◎請負で剪定した木は収集できません。
- ◎雑草は土を必ず落としてください。

在宅医療廃棄物(可燃物)

医療患者や家族が医師の指導管理により自らが在宅で医療行為を行う際に出た医療廃棄物
※廃棄方法の詳細についてはP7をご覧ください。

その他

- 灰(水に湿らせて袋に入れる)●使い捨てカイロ
- 使い終わった花火(水に湿らせて)
- 保冷剤●乾燥剤●ペットのトイレ用砂
- 紙おむつ(汚物はトイレに流してから)

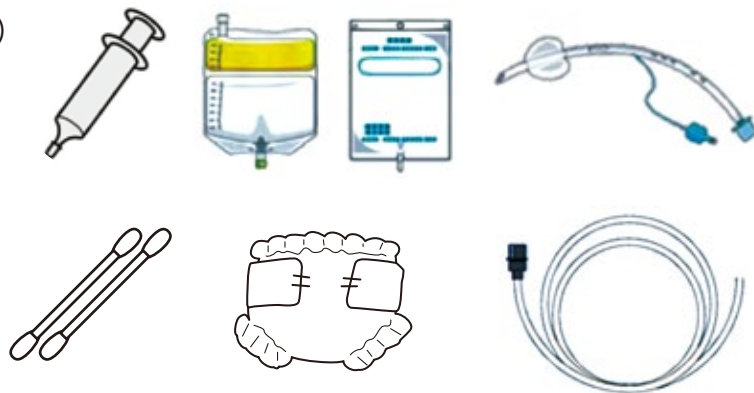


在宅医療廃棄物の出し方について

ご家庭で在宅医療をされている方は、在宅医療廃棄物を下記のとおり出してください。
在宅医療廃棄物だけを透明の袋に入れてから、その他の可燃ごみと一緒に坂出市指定収集袋に入れて、可燃ごみの日に集積場に出してください。

【在宅医療廃棄物の例】

- ・使い捨て注射器（針は取り除く）
- ・点滴バッグ
- ・脱脂綿・ガーゼ・綿棒
- ・ストーマ装具
- ・マスク・鼻カニューレ
- ・カテーテル（針は取り除く）
- ・流動食バッグ
- ・チューブ（針は取り除く）
- ・導尿用バッグ
- ・紙おむつ（汚物はトイレへ）



- ※注1 注射針等については、感染性を有しますので医療機関または薬局等へ処理を依頼してください。
- ※注2 容器にリサイクルマークが識別表示していても可燃ごみとして出してください。

可燃ごみの出し方ワンポイント

- 肉・魚・惣菜などの食品トレイやコンビニ弁当などの容器や豆腐・卵のパックなどの資源ごみ（プラスチック製容器・包装）類は資源ごみとして出しましょう。
- 紙おむつについている汚物は必ずトイレに流してから出してください。
- 灰や使い終わった花火などは、必ず水に湿らせて出してください。
- 魚のトロ箱や商品梱包の際に使われている発砲スチロールはプラマークがあっても処理施設で資源化できないので可燃ごみとして出してください。
- 新聞・ダンボール・雑誌・紙パックなどは、資源ごみ（紙類）として、出してください。
- カセットテープ・ビデオテープの本体は、中にあるテープが資源ごみ破砕機に絡まってしまうため可燃ごみ扱いとなります。

水切りについて ※ここで生ごみ処理についてもっと詳しく!!!

坂出市では年間約9,000トンの可燃ごみが家庭から搬出されています。
このうち約30%~40%は生ごみです。生ごみの水分量は約80%と言われているので、年間約2,000トンもの水分を処理していることになります。

ご家庭から排出する前に、ちょっとした工夫やひと手間かけることで…

- ・ごみの減量化
- ・腐敗・悪臭の防止
- ・焼却施設の焼却効率の向上や焼却量減少による地球温暖化防止（Co2削減）などが期待されます。また、生ごみの減少および水切りのポイントとして
- ・料理は食べる分だけ作る。
- ・食べ物を大切に、残さず食べる。
- ・水切りネットなどを使用し、ネットに入っている生ごみは、絞って乾かしてから捨てる。

1人1人の心掛け一つで、ごみは減らせます。ご協力をお願いします。